

きゅうり（つる枯病、うどんこ病同時防除）

試験場所：宮崎県総合農業試験場（2020年）

品種(規模)	エクセレント節成2号（10株3反復<1区5.6㎡>）
対象病害	つる枯病・うどんこ病
供試薬剤	ケンジャフロアブル1500倍、対照A剤600倍、対照B剤1000倍
薬剤処理	6月9日、16日、23日
処理方法	接種：PDA培地で前培養したきゅうりつる枯菌を使用し菌糸懸濁液（ 5.0×10^3 個/mL）を作成し、6月11日に各区全株の下位節にハndsプレーで十分量を噴霧した。
調査方法	つる枯病 ：最終散布7日後、14日後、21日後に各区全株下位10節について発病節率を算出した。 うどんこ病 ：最終散布7日後、21日後に各区全株について10葉/株のうどんこ病発生程度を、発病の有無及び下記の基準により発病の程度を調査し、発病率及び発病度を算出した。 発病指数 0：発病を認めない 葉面積あたり病斑面積 1：5%未満 2：5~25%未満 3：25~50%未満 4：50%以上

殺菌剤

ケンジャフロアブル

農林水産省登録第23993号

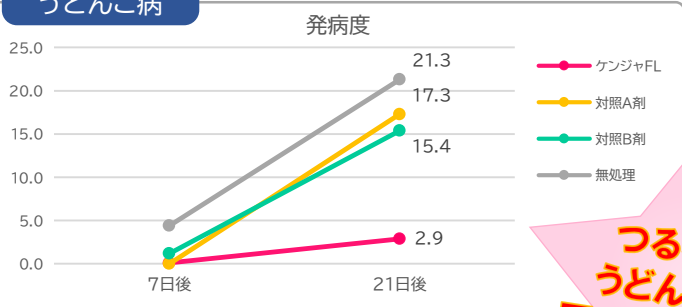
有効成分：イソフエタミド・・・36.0%

今日はケンジャフロアブルのきゅうり、トマトでのうどんこ病と主要病害の同時防除試験について紹介します。

IBJ防除情報

(Ishihara Bioscience Japan) 石原バイオサイエンスの略)

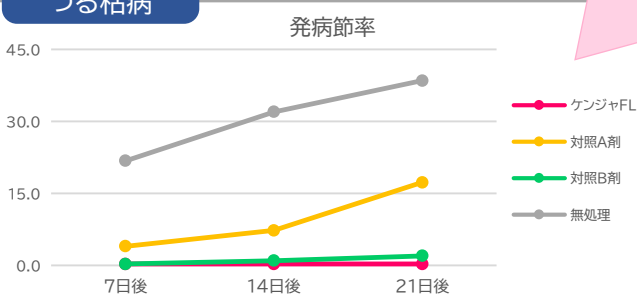
うどんこ病



つる枯病、うどんこ病の同時防除が可能



つる枯病



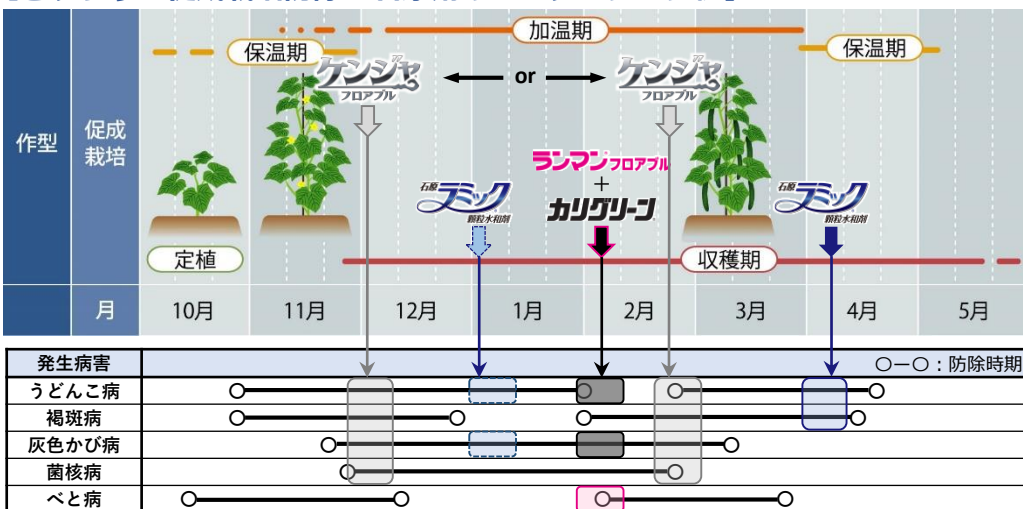
【つる枯病：発病節率推移】

薬剤	7日後	14日後	21日後
ケンジャFL	0.3	0.3	0.3
対照A剤	4.0	7.3	17.3
対照B剤	0.3	1.0	2.0
無処理	21.8	32.0	38.5

令和2年
12月21日発行

第114号

【きゅうり：促成栽培防除：石原剤のローテーション例】



きゅうり栽培では、うどんこ病の防除を継続的に行う必要があります。ケンジャフロアブルは、1成分で灰色かび病、菌核病、褐斑病、つる枯病など重要病害に加え、うどんこ病に対し残効性が長く高い防除効果を有するため、ローテーションの中で位置付けしやすい薬剤です。



センチユウ検定サービス実施中！

弊社では、圃場の土壌をご送付頂き、その土壌中のセンチユウ数を測定し、防除計画のご参考にして頂くセンチユウ検定を無料で実施しております。詳しくは裏面弊社支店担当者へお問合わせください。

トマト（葉かび病、うどんこ病同時防除）

【試験事例】熊本農業研究センター（2020年）

早めの防除でうどんこ病をしっかり予防しましょう！

・試験区の構成及び薬剤の処理方法

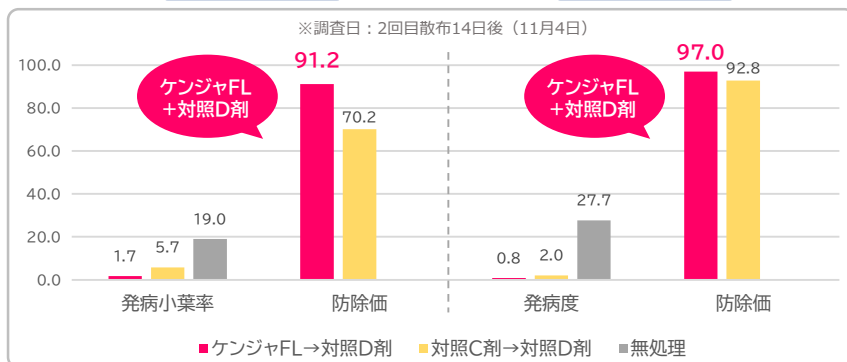
区	葉かび病菌接種 (10月6日)	灰色かび病菌接種 (10月13日)
	1回目散布 (10月7日)	2回目散布 (10月21日)
試験体系区	ケンジャ フロアブル (1500倍)	対照D剤 (2000倍)
対照区	対照C剤 (2000倍)	対照D剤 (2000倍)
無処理区	—	—

品種(規模)	ハウス桃太郎（10株3反復<1区8.5m>）
調査方法	・葉かび病：1回目散布前、1回目散布14日後、2回目散布7日後、14日後に、各区中位の小葉計50~100枚について発病小葉率を調査した。
	・灰色かび病：1回目散布14日後、2回目散布7日後、14日後に、各区全株について、発病力所数を調査した。
	・うどんこ病：2回目散布7日後、14日後に、各区中位葉（50複葉）について、発病の有無及び下記の基準により発病の程度を調査し、発病葉率及び発病度を算出した。 発病指数 0：発病を認めない 葉面積あたり病斑面積 1：5%未満 2：5~25%未満 3：25~50%未満 4：50%以上

葉かび病

うどんこ病

灰色かび病



【発病力所数/10株】

月日	10月21日	10月28日	11月4日
区	1回目散布 14日後	2回目散布 7日後	2回目散布 14日後
試験体系区	0.0	0.0	0.0
対照区	0.0	0.0	0.3
無処理区	0.0	0.3	1.3

石原の農薬適用拡大情報

ブルーシアフロアブル

★12月9日に適用拡大されました。

(適用拡大箇所のみ記載)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		使用方法	本剤およびトルピラレートを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量		
とうもろこし	一年生雑草	とうもろこし3~5葉期 但し、収穫45日前まで	40~50ml	100ℓ	雑草茎葉散布 又は全面散布	1回
		とうもろこし6~7葉期 但し、収穫45日前まで	50~75ml	100~150ℓ		

※詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

石原バイオサイエンスのホームページがリニューアルします！

今まで以上に見やすく、使いやすいホームページに変身致します。皆様に有効な情報発信が出来るよう努めて参りますので、今後ともご愛顧頂きますようよろしくお願い致します。

近日公開予定

<https://ibj.iskweb.co.jp>

ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>